

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [ドロッカーの言葉①](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

ドロッカーの言葉①

共通の使命だけが組織を束ねる

明確かつ焦点のはっきりした共通の使命だけが、組織を一体とし、成果をあげさせる。焦点の定まった明確な使命がなければ、組織はただちに組織としての信頼性を失う。

組織には挑戦すべき目標が必要

企業は大きくなれないのであれば、内容をよくしなければならない。組織には挑戦すべき目標が必要である。

組織は戦略に従う

組織構造は目的を達成するための手段である。

したがって組織構造に取り組むには、目的と戦略から入らなければならない。

これこそ組織構造についてのもっとも実りある洞察である。

これは当然と思われるかもしれない。そのとおりである。

しかし現実には、組織づくりの最悪の間違ひは、いわゆる理想モデルや万能モデルをそのまま生きた組織に当てはめるところから生じている。

学ぶ組織、教える組織をつくる

生産性向上のための最善の方法は、他人に教えさせることである。

知識社会において生産性の向上をはかるには、組織そのものが学ぶ組織、教える組織とならなければならない。

組織とは個人に自己実現させる手段

組織とは、個としての人間一人ひとりに対して、また社会を構成する一人ひとりに対して、何らかの貢献を行わせ、自己実現させるための手段である。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🗺️ サイトマップ 🔍 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.